

1 事業名

平成26年度教育事業 「テンパークチャレンじくらぶ ドキドキ わくわく (冬)」

2 趣旨 (事業の目的)

自然体験をとおして、自然を大切にする心、豊かな感性や思いやりの心を育むとともに、ボランティアの高校生・大学生また参加者同士の交流をとおして、コミュニケーションの力を育む。

3 期日

平成27年2月7日 (土) ~ 8日 (日)

4 参加者

盛岡市, 滝沢市, 紫波町の小学生, 3~6年生 (52名)

5 連携・協力

岩手県教育委員会, 盛岡市教育委員会, 滝沢市教育委員会, 盛岡大学
ユーレストジャパン (株) 岩手店

6 内容

(1) 日程

日時			13:00 13:30		13:50		16:30 17:30		18:30		20:00		21:00		21:30					
7日 (土)			受付	はじめの会	みんなで遊ぼう! ~雪上活動~		自由時間	夕食	みんなで見上げよう ~星空観察~		入浴	就寝準備	就寝							
日時	6:30		7:00		7:20		8:45		9:30		11:45		12:30		13:00		13:15		13:30	
8日 (日)	起床	洗面・清掃	つどい	朝食・休憩	退所点検	みんなで楽しもう ~雪上林道大会~		昼食	アンケート記入	おわりの会	解散									

(2) 指導者

国立岩手山青少年交流の家

企画指導専門職

中田 春輝

企画指導専門職

高橋 省一

事業推進係

及川 未希生

指導補助

法人ボランティア

21名

(3) 企画のポイント

体験活動支援セミナーに参加している高校生や大学生とのふれあいや体験活動を通して、友達作りや班で協力することの大切さを学びながら、楽しい2日間を過ごせるように生活班に複数名のグループリーダーを配置した。

はじめに、全体でのアイスブレイクを行い参加者の緊張をほぐした。次に班ごとに活動を行い、グループリーダーと仲良く活動を重ね、班ごとのコミュニケーションが深まるようにプログラムを構成した。また、岩手山青少年交流の家の冬ならではの雪遊びやスノーチューブをとり入れた。さらに、星空観察やアイスづくりを企画した。

(4) 広報のポイント

年度当初から、当施設ホームページに事業日程を掲載してきた。また、盛岡市、滝沢市の教育委員会教育長、盛岡市、滝沢市の各小学校と報道機関へ開催要項とチラシを送付した。

(5) 運営のポイント

体験活動支援セミナーの参加者を各グループ3名ずつ、小学生8グループのグループリーダーとして位置づけて、小学生の参加者が不安を抱くことがないようにあたたかく迎え入れるようにした。班が早く仲良くまとまるようにグループリーダーが率先して会話をすることを心掛け、班のコミュニケーションを深めることで、参加者がより楽しく活動ができるように配慮した。職員と法人ボランティアは、グループリーダーや子どもたちの様子を観察しながら、活動の支援を行うことで活動が円滑に流れるようし、グループリーダーが子どもたちから信頼を得られるようにした。

7 成果とその普及

参加者のアンケートから「みんなで協力して作ったアイスがおいしかった。」「寝転がって見た星空がきれいだった。」「他校の違う学年の人などに関われてよかった。大学や高校の人たちもやさしかった。」などの感想がよせられた。一つ一つの活動も楽しいが、他の学校の人と友達になれたことや、高校生や大学生とのコミュニケーション自体が楽しい要因であると考えられる。2日間の様々な活動をとおしてグループや全体のコミュニケーションをとった。本事業の趣旨であるコミュニケーションの力を育む機会を、1泊2日という短い期間ではあるが十分に提供できたものとする。この結果について、広く県内の施設に普及していきたい。

8 今後の課題

子どもたちの中には、参加を楽しみにして、すぐグループリーダーとうちとけ、仲良く会話を楽しむ姿が見られたが、緊張からか、なかなかグループに入れなかったり、口数が少なく自分から話そうとしない子どももいたりした。グループリーダーに話しかけられることで仲よくなることができた子どもも多かった。今回は、6名から8名の参加者に2人の割合でグループリーダーを配置することができた。参加者とグループリーダーの比率についてのバランスをうまく調整していきたい。

また、この事業は、リピーターの多い事業ということで成果も上がっているが、さらなる普及を踏まえ、新規の参加者にも多く参加していただけるよう広報について考えていきたい。



アイスブレイク



雪上活動「そり滑り」



雪上スポーツ大会
「アイス作り」